

語り合おう！精華町の未来デザイン



# せいかカフェ・ラボ



## 第3回 テーマ別ワークショップ 開催結果 精華の未来に向けた取り組みを考えよう！

【日時】令和4年3月26日（土）13:30～16:00（開場：13:00）

【場所】けいはんなプラザ交流棟3階 大会議室「ナイル」 【出席者】33人（別途スタッフ21人）

### ■テーマ別のグループワークで「めざすまちの姿」の実現に向けた、「取り組み」を考える

第2回で掲げた「めざすまちの姿」の実現に向けた取り組みについて意見交換をし、重点的な取り組みを3つグループで決めていただきました。そして最後に、全体発表で共有しました。



グループ	めざすまちの姿（第2回で検討）	重点的な取り組み（今回検討）
A 学研都市建設	<ul style="list-style-type: none"> <li>けいはんな新線を核とした面的発展を目指した交通整備</li> <li>次世代へ引き継げる景観保全がされたまち（メンテナンス）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>京阪奈新線の延伸の実現の要望（企業・住民一体で）</li> <li>新たな公共交通の整備</li> <li>環境維持費用の捻出のための情報発信</li> </ul>
B 学研都市未来	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学と伝統で進化を続け、他の地域の人々が来なくなるまち</li> <li>子供から大人までみんなが夢を持てるまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町の発展のために住民・行政・企業の連携が必要</li> <li>世代間で楽しめるような精華町の魅力を発掘し、発信していくような場を持続可能な形で設定する</li> <li>若者の意見を取り入れて、高齢者支援を行う</li> </ul>
C 観光・産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもからお年寄りまで3世代が一緒に安心して過ごせる町</li> <li>遊び・働く・学び・スポーツ・伝統、活躍できる場所がある町</li> <li>産業・観光・福祉・子育て等全ての分野でつながり、協働のある町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民が集う場作り、カフェラボ 100軒</li> <li>町の観光・産業の魅力を発信するしくみ作り ヒト・SNS活用</li> <li>町内観光施設を訪れる観光客を誘引するしくみ作り 道の駅？！</li> </ul>
D 健康・福祉・生涯学習①	<ul style="list-style-type: none"> <li>行きたいところに行けるまち</li> <li>お互い支え合えるまち、誰もが何でも参加できるまち</li> <li>お酒！？が飲めてみんなでワイワイできる、よりどころがあるまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアについて考えるきっかけ作り</li> <li>生活に不便を感じない交通手段づくり</li> <li>多世代や同じ状況にある人が交流できる居場所を作る（カフェ・サロン・イベントなど）</li> </ul>
E 健康・福祉・生涯学習②	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療の充実した町</li> <li>食生活の充実、体力づくり、仲間づくりが出来る町</li> <li>みんなでふれ合える孤立しない町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点病院の設置</li> <li>子どもの遊具の他に、公園に体力づくりの器具の設置など</li> <li>コミュニティを活動支援し活性化していく</li> </ul>
F 子育て・教育①	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもも大人も笑顔あふれ住みたい町</li> <li>町全体が家族な町</li> <li>体験を通じて心が豊かになる町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業生産体験から子育て支援</li> <li>学研都市の企業とのコラボレーションによって場を作り笑顔に</li> <li>SNSの活用、つながるアプリ</li> </ul>
G 子育て・教育②	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちが変えられるまち</li> <li>地域で見守るまち</li> <li>育てよかったまち</li> <li>自然を活かした環境のある町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもと学生が考えるせいか祭り</li> <li>誰もが情報をとれるシステムづくり</li> <li>特別な知識を持った人たちから子どもたちが学べる場所づくり</li> </ul>
H 安全・安心・コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>個性が集まり、つくりあげるまち</li> <li>おせっかいなまち</li> <li>明るくて、やさしいまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人やものをつなげるイベントづくり</li> <li>人がつながる仕組みづくり</li> <li>気軽に立ち寄れる場所づくり</li> </ul>

# 各グループの主な内容

(付せんの一部をご紹介します)

## A：学研都市建設グループ

### けいはんな（京阪奈）新線の延伸

要望の変化を組織的にくみ上げ、まとめる

交通インフラ周知→住民がメリットを感じていない

住民、企業一体で要望する

### 維持費用捻出のための情報発信、交流

昼間人口増につながる学校・専門学校等の誘致

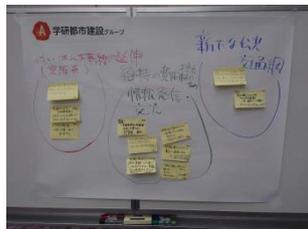
情報発信オンラインワン企業・住民・学校から

大阪・京都・奈良へのアピール

### 新たな公共交通網

MaaS的交通システムを計画・導入

住み続けられる町⇒公共交通網⇒シェアリング



## B：学研都市未来グループ

### 企業・研究所交流・連携

町の特徴を活かしたベンチャー企業の誘致

幼少時の体験型教育と、中高生のまちづくり参加

住民・行政・企業交流の為にプラットフォーム

### 精華町の魅力発信

自由にミーティングができ、情報発信、受信できる場

町民による「精華町RTA」を発信

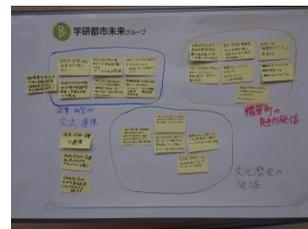
データベース、検定、ガイドブックを作成

### 文化・歴史の発掘

一部の人しか知らない文化や財産を広く知れる場

古くから続いている行事に関心を持ってもらう取り組み

各団体等を繋ぎ、サポートするコーディネーターの設置



## E：健康・福祉・生涯学習②グループ

### 支え合い

地域の集会所などでのつどいの場作り

病気にかかった時に、お世話になれる隣付き合い作り

子ども、お年寄りの送迎の手助け

生活環境に合ったユニティを提案

### 医療

かかりつけ医、拠点病院、保健所との連携が大切

訪問診療の充実

身体を動かす→ポイント→使用できる仕組み作り

公園施設の充実、体力づくりの機具の設置など

### 健康づくり

### 医療・健康づくり

身近な専門医の充実、健康全般について相談できる

おしゃべりやレクレーションできる施設で健康寿命延長



## F：子育て・教育①グループ

### 学研都市の活用、企業とのコラボ

カフェラボのように町の中になる会社と町民をつなぐ

会社貢献事業とコラボした子育て世代との事業

子どもたちが将来をイメージしやすくなる体験

### イベントの企画→つながりの場

「体験」けいはんな公園の活用（場の提供）

四季折々のイベントを町民に呼びかけ交流

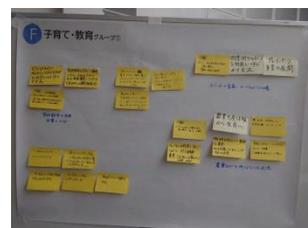
プレイパーク事業の展開

### 農業などを中心とした交流

大人が率先して笑顔になれる場の提供

Win-Winの関係を守りながら行う体験事業

単発ではなくシリーズでのイベント・体験



**C：観光・産業グループ**

子どもを中  
心に家族連  
れで、「まち  
歩き」を！

高齢者の人  
が集まる健  
康維持イベ  
ント開催

タテの繋が  
りはあるが、ヨコの  
繋がりがな  
い

現在まちに  
ある資源  
(宝)を、  
再確認する

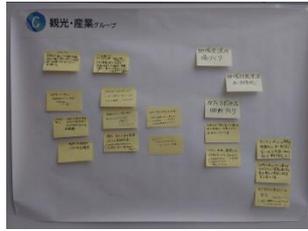
目指すまち  
の姿(ビジョ  
ン)の発信

町のおいし  
い野菜・果  
物を知って  
もらえるよ  
うに発信

「いいね!」  
と思える  
「おいしい  
もの」づく  
り

総合的・多  
様性を持つ  
て、観光を  
発展させる

バリアフリーを充実さ  
せる



**D：健康・福祉・生涯学習①グループ**

支え合い

ボランティア活動を見  
直し、特に  
若い世代の  
参加を期待

男女共同の  
世であり、  
人を真剣に  
考えていく  
まちづくり

健康な人  
は、積極的  
に助ける側  
に動く

つながり

困っている  
ことを発信  
でき、嬉し  
いも共有で  
きる

子どもたち  
もたくま  
しく育  
ていく

皆でワイワイ

障がい者サ  
ロンの回数  
を増やし、  
郵便で案内  
を送る

いろんな人  
が楽しめ  
る、小さな  
イベントの  
開催

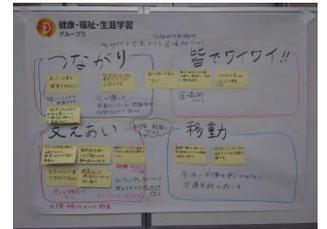
つながり・皆でワイワイ

誰でも  
気軽に  
立ち寄れる  
"カフェ"

移動

高齢者・障  
がい者にタ  
クシー券  
を、書留郵  
便で送る

行きたいと  
ころに行け  
るように、  
バスの本数  
を増やす



**G：子育て・教育②グループ**

積極性

自分たちに  
できること  
を考える機  
会・経験を  
与える

地域のお祭  
りに子ども  
たちが、積  
極的に関わ  
る

環境

田畑で稲や  
野菜を育  
て、せいか  
祭りとコロ  
ボで収穫祭

成長

地域の中  
での多様な  
部活、クラ  
ブ活動

もっと自由  
に遊べる場  
所(ボール  
遊びなど)

小・中・高  
校生による  
プログラム  
教育を支援

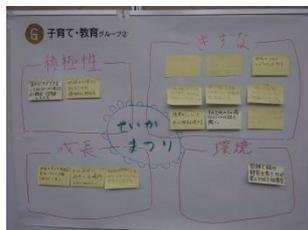
きずな

地域のSN  
Sへの「入  
口」を作る

子育てが終  
わった主  
婦、主夫等  
による経験  
談を聞く

精華町につ  
いて知る機  
会を増やす

その土地の  
その場なら  
ではの話を  
聞く



**H：安全・安心・コミュニティグループ**

人や物をつなげるイベントづくり

ものや情報  
交換ができ  
るマーケッ  
トのような  
イベント

既存の組織  
の活動交流

既存の組織  
で出来る事  
から協働し  
て実践

人がつながる仕組みづくり

助けが必要  
な人・集い  
たい人の情  
報共有

みんなで声  
をかけあえ  
る

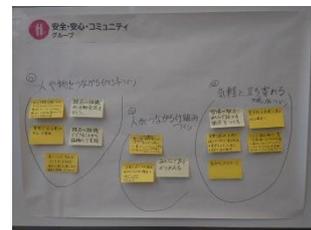
子供と老人  
との接点を  
つなぐ仕掛  
け→おせっ  
かい

気軽に立ち寄れる場所づくり

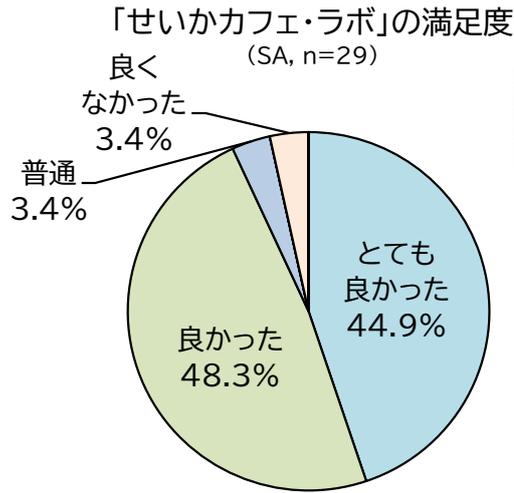
役場や駅近  
くにみんな  
で話せる拠  
点を作る

人がよく集  
まる場所に  
無料の休憩  
所のような  
ものを作る

室内キッズ  
スペース



■参加者アンケート



参加者の約93%が「良かった」

【感想等】

- ・ 今回も気づきが多くあり、参考になった。
- ・ 久しぶりの参加だったが、チームの皆さんと楽しく交流させていただいた。
- ・ 第3回になり、ワークの内容がより具体的になり、イメージしやすく、取り組みやすかった。こんなことしたい、あんなことあればいい、という意見がたくさん出て、聞いていてもワクワクした。
- ・ 全体を通して、情報発信の仕方が共通の課題になっているように感じた。
- ・ グループ内での話し合いの時間が短い。発表する時間も短い。
- ・ せいかカフェ・ラボで出た意見がどのように総合計画に反映されたかを知りたい。また、反映されなかったことも知りたい。今回集まった人たちの今後のモチベーションになるような結果が欲しい。
- ・ せいかカフェ・ラボの話し合い成果がさらに発展した形になるように継続して話し合いを行うことを希望する。一貫性を持って連続、継続されることも希望する。

